

「つながりチェックシート」活用のすすめ

第 38 期静岡県社会教育委員会では、社会教育がウェルビーイング※の実現に寄与するためには、「つながり」が大切な視点(要素)であると考えました。チェックシートを活用して、今実践している社会教育の取組・活動内容を確認し、より多くの「つながり」をつくってみませんか。

チェック項目は「つながり」と「そのほかの大切にしたい視点や手段」です。
「つながり」の分析の際の矢印は、以下を参考にチェックしてみてください。

チェックの仕方 (※自己評価で構いません)

・ゆるやかな「つながり」の場合、線を引く ・密接な「つながり」の場合、塗りつぶす
<例>

学習活動(学習者・学習支援者)

行政他

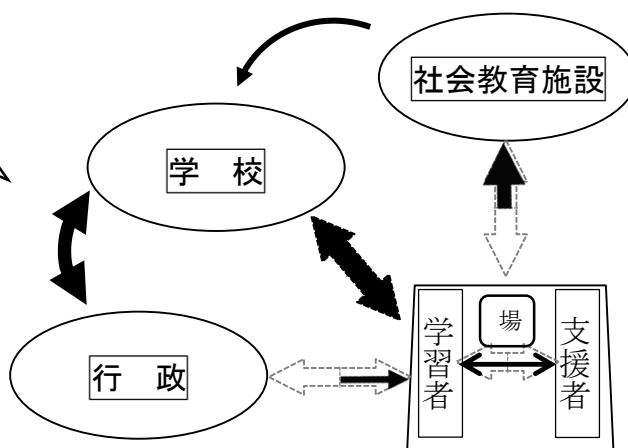
行政から学習活動への「つながり」

町SNSで講座案内を配信
⇒ゆるやかな「つながり」

学習活動から行政への「つながり」

講座の周知依頼、社会教育主事に助言
依頼、町教育計画に沿った事業実施
⇒密接な「つながり」

○ 同士のつながりの矢印は
自由に追加してください

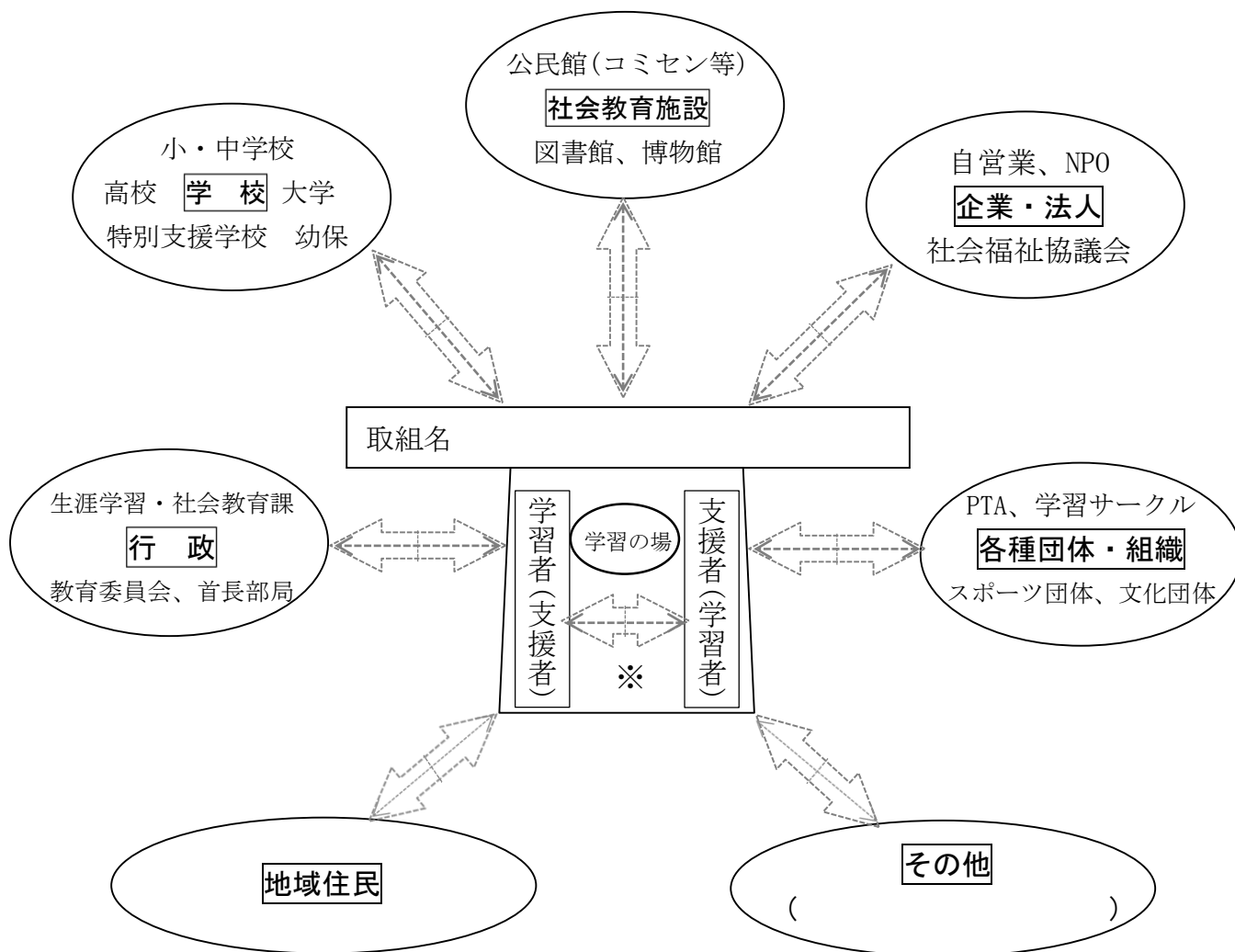


※ウェルビーイングとは、『第 11 期中教審生涯学習分科会における議論の整理』によれば、『個人』の幸せ + 周囲の「場」のよい状態』であるとされています。

「つながりチェックシート」

「つながり」の分析

◎実践している取組・活動について「つながり」を矢印で記入しましょう。



※ 様々な背景を有する学習者と自身の取組等をつなげるヒントに「(別紙)誰もが共に学び合う生涯学習社会の形成に向けて」を御活用ください。

そのほかの大切にしたい視点や手段の分析

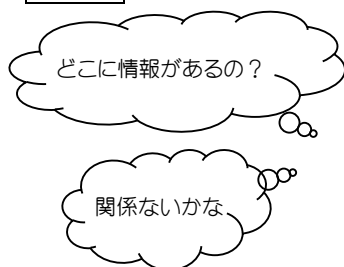
◎以下の視点や手段を意識して取組・活動を実践している場合は□にチェックをしましょう。

- お互いを認め合う場づくり
- 居心地のいい場づくり
- 参加者に役割がある(機会がある)
- コミュニケーションの機会
- 学習成果を発信する機会
- 参加や学び方を自由に選べる

誰もが共に学び合う生涯学習社会の形成に向けて

誰もが共に学び合う生涯学習社会の形成に向けて、4つの視点を大切に取組・活動をしよう。

視点1 学習情報を丁寧に届ける



キーワード

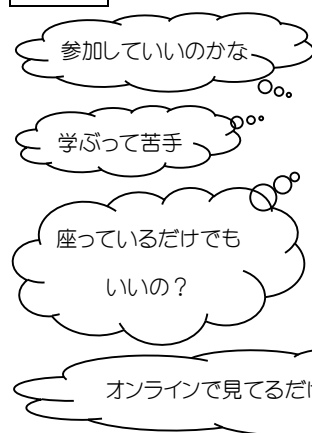
一人一人

当事者の目線

複数の方法で広報していますか？

店舗や施設等の掲示板やチラシの配架、自治会の回覧板、市町のSNSに掲載する広報方法に加え、やさしい日本語の使用や民生児童委員による戸別訪問等、当事者目線で一人一人に丁寧に届ける

視点2 安心感を与える



キーワード

学ぶ楽しさ

居場所づくり

学ぶことが楽しいと思える仕掛けはありますか？

学習内容や活動がおもしろい、学んだことが生かせる、取組・活動に参画できるような、学ぶ楽しさを感じ、安心して参加できる学習プログラムを組む

ただ集まれる居場所にもなっていますか？

学び合うことに最初は戸惑う学習者も存在する。参加の仕方に自由度が認められ、気楽に安心して参加できる居場所の存在が次への学び合いに発展していく

視点3 多様性を認め合う



キーワード

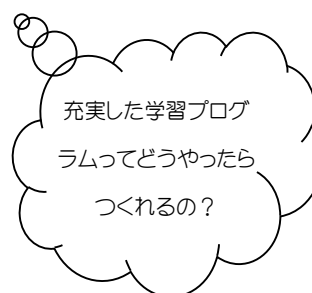
体験

交流

誰もが参加できる体制を整えていますか？

様々な背景を有した人の困り感を理解することが、誰もが共に学び合う社会の形成につながる。そのために、誰もが参加しやすい体制を整えるとともに、様々な人が交流し、人それぞれの特性(多様性)を実体験から知ることができる学習プログラムを意識する

視点4 「つながり」づくり・「人」づくり



キーワード

連携

人材

様々な強みをもつ各種団体等と連携していますか？

固定概念にとらわれることなく、学習者理解に努めようとする支援者が、得意分野の異なる必要な団体や組織(公民館・博物館・図書館、スポーツや文化関係団体、NPOや企業、PTAや地域学校協働本部など)や行政の部署及び人材と連携し、学習者のニーズに合った学習機会を充実させる